

株式会社 LIXIL

株主通信

2023年9月中間ご報告

2023年4月1日～2023年9月30日



目次

| | | | |
|-------------|----|-------------|-----|
| 社長メッセージ | 02 | 株式の状況 | 16 |
| 特集 | 05 | 会社概要 | 17 |
| 営業報告 | 11 | 株式実務電子提供制度 | 18 |
| セグメント情報 | 12 | 報告書 発行のお知らせ | 裏表紙 |
| 株主さまアンケート結果 | 15 | | |



表紙：システムキッチン／ノクト、キッチン・リビング収納／カノール P01：上段左より：玄関ドア／XE、エクステリア／カーポートSC
下段左より：タイル／エコカラットプラス サンティエ、トイレ／サティス：Gタイプ、水栓金具／SPA COLOR COLLECTIONS

社長メッセージ



取締役 代表執行役社長 兼
Chief Executive Officer

瀬戸 欣哉

➤ 持続的で安定した成長を
確かなものにするため、事業改革と
イノベーションの創出に取り組んでいます。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

上期の決算概要

2024年3月期上期の売上収益は、欧州における住宅不況の影響を中心に、世界全体での需要低迷の影響を受け、前年同期比0.1%減の7,322億円となりました。一方で事業利益は、引き続き厳しい事業環境ではあるものの、原材料、

資材・部品などの調達コスト上昇分を迅速に販売価格へ反映してきた効果や、国内での高性能窓リフォーム需要により収益性を改善させたことで、前年同期比43.6%増の88億円となりました。

急速に変化する事業環境への対応

2023年3月期は、急激な円安の進行を背景とした原材料、資材・部品価格の急騰に加え、紛争や新型コロナウイルスの感染拡大によるサプライチェーンの

第2四半期累計(上期)の実績および通期の業績予想

(単位:億円)

| | 第2四半期累計(上期)実績 | | | 通期実績・予想 | | |
|--------------------------|----------------|----------------|--------|--------------|----------------|--------|
| | 23年3月期 上期実績 | 24年3月期 上期実績 | 前年同期比 | 23年3月期 実績 | 24年3月期 修正予想 | 前期比 |
| 継続事業に係る売上収益 | 7,327 | 7,322 | △0.1% | 14,960 | 15,300 | 2.3% |
| 継続事業に係る事業利益 | 62 | 88 | 43.6% | 257 | 400 | 55.4% |
| 親会社の所有者に帰属する 当期/四半期利益 | 37 | 5 | △86.8% | 160 | 110 | △31.2% |

寸断などが、当社の収益に大きく影響しました。全世界的なインフレの進行ならびに金利の上昇は、住宅や関連商品への投資意欲を大きく減退させ、欧州や米州を中心に、需要低迷につながっています。

また、日本においても、インフレの進行により、建築コストが上昇し、特に新設住宅着工戸数の低迷が継続しています。一方で、今年度より開始された窓の断熱リフォームに対する政府による補助金制度は、かねてより日本の住宅の高性能化に取り組んできた当社にとって、大きな商機となっています。既存の窓に対して簡単に施工し、断熱効果を高めることができる樹脂製内窓「インプラス」の売上は例年の3倍以上となりました。

日本においては、約6,000万戸ある既存住宅の9割が現行の省エネ基準を満たしておらず、既存住宅のエネルギー効率を高める必要があります。高断熱製品は今後も需要拡大を見込んでおり、当社の成長とともに、気候変動の緩和に貢献する事業となっています。

[▶ P.06~参照](#)

下期の取り組み

当社では、かねてより、外部環境の変化に左右されにくい企業体質の構築に取り組んでおり、経営の基本的方向性である『LIXIL Playbook』で示した優先課題への対応に注力し、着実に前進しています。市場環境が大きく変わる中での喫緊の課題は、海外事業における

収益性の改善です。特に欧米諸国における急激なインフレの進行や金利の上昇を背景とした住宅関連設備需要の弱さは、販売量や生産数量の減少を招き、固定費負担の増加が収益性の面で大きな課題となっています。

そのため、海外事業を中心に、機動的なサプライチェーンの構築によるコスト低減や、差別化された戦略商品の拡販に加え、事業体制の包括的な見直しなど、事業環境の急激な変化に対応できる組織への変革に取り組んでまいります。

通期の業績予想ならびに配当予想

下期においては、欧州をはじめとする海

外の事業環境は引き続き厳しい状況が継続することが見込まれますが、一方で、国内における断熱リフォーム商材の売上伸長が継続すること、および、その他リフォーム向け商材の売り伸ばし策により、売上収益15,300億円、事業利益400億円、最終利益*110億円を計画しています。

中間配当は1株当たり45円を決議し、1株当たりの年間配当予想は90円を据え置きます。

※親会社の所有者に帰属する当期利益

社会課題の解決に資する
新製品の開発・展開

LIXILでは、事業プロセスにおける環境負荷低減に加え、環境に配慮した製品・サービスの提供を通じて、2050年までにCO₂排出量実質ゼロの達成を目指しています。特に深刻化する気候変動への対策や、限りある資源の循環利用の推進に注力してきました。

日本では、一般的な住宅における消費エネルギーのうち、約6割を暖冷房と給湯が占めています。こうした課題に対応し、当社では住宅の断熱性を高める窓やドア、高性能住宅工法を通じて、暖冷房によるエネルギー消費量を削減するとともに、タッチレス水栓「ナ

ビッシュ」などエコセンサー機能付きの水栓製品により、省エネ・節湯を実現しています。

また、脱炭素・循環型社会の実現に向けて、製造の際に大量の電力を消費するアルミ新地金の使用比率を下げ、使用後のアルミ材を有効活用する取り組みを進めてきました。今年10月には、原材料としてリサイクルアルミを100%使用する低炭素型アルミ形材「PremiAL R100」を発売しました。この商材は、通常のアルミ地金を使用するのに比べ、製造時のCO₂排出量を97%も削減するなど*気候変動の緩和にも大きく貢献するものです。昨今の建設業界では、製造プロセスにおいてもCO₂排出量が少ない商材を採用することへの関心が高まっており、今後ますます「PremiAL R100」への需要が高まることを確信しています。海外での販売も視野に入れ、展開を強化していきます。

[▶ P.08~参照](#)

※弊社リリース(別画面が開きます)

さらに、水まわり製品のリーディングカンパニーとして、「水の持続可能性を追求」を環境戦略の重点領域の一つとして設定し、取り組みを進めてきました。エンドユーザーの水使用量の削減

に貢献するべく、当社は節水・節湯性能が高いトイレや水栓製品を提供しています。この度、GROHEブランドで新たに開発されたのが、心地よさはそのままに、水を再利用できる新しいシャワーシステム「Everstream」です(2024年春より製品化予定)。髪や体を洗った後のお湯を回収し、適切に浄化することで、水の再利用を可能とし、高い節水・節湯効果が期待できます。

[▶ P.07~参照](#)

株主の皆さまへ

LIXILは、持続的な成長の実現と、存在意義である「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」を追求しています。

イノベーションを通じて環境負荷の低減と、新たな価値を創出することで、社会や地球環境に対してより一層大きなインパクトを生み出していきます。そして、こうした取り組みを強化することが、新たな事業機会につながっていくと確信しています。足元では厳しい事業環境が続いていますが、事業改革とイノベーションの創出を通じて、今後も持続的な成長を実現してまいります。株主の皆さまには、引き続き、温かなご支援を宜しくお願い申し上げます。



世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現

LIXILは、「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」というPurpose(存在意義)を実現すべく、トイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と、窓、玄関ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。また、製品やサービス、事業活動を通して環境と社会の課題を解決するとともに、持続的成長と社会に対するインパクト(良い影響)の創出を目指しています。

インパクト戦略: https://s.lixil.com/impact_s



特集 1

事業活動を通じて環境に貢献できること

環境戦略: <https://s.lixil.com/environment>

LIXILは、「CO₂ゼロと循環型の暮らし」を目指す環境ビジョン2050の実現に向けた取り組みをさらに加速し、インパクトの拡大を目指すため、2023年3月期に環境戦略を更新しました。事業活動全般において、環境の取り組みを強化し、現在そして次世代の人びとの暮らしに変化を生み出すことを目指します。

世界共通の課題
「脱炭素社会」にLIXILの窓で挑む

リフォーム用窓「インプラス」

現在の窓はそのままに、室内側に樹脂製内窓「インプラス」を取り付けるだけで、高い断熱効果を発揮し、家のさまざまな問題(暑さ、寒さ、窓の結露、騒音など)を緩和します。住宅の断熱性能を高め、エネルギー消費を抑制することにより、年間1窓あたり34kg*のCO₂削減に貢献します。LIXILは、事業プロセスにおける環境負荷低減に努めるとともに、環境戦略の「気候変動対策を通じた緩和と適応」においてCO₂排出量の削減に向けた取り組みを推進しています。

※当社試算



サーモグラフィーで見る冬のリビング



今ある窓のみ(単板ガラス3mm) / 今ある窓+内窓(インプラス)/単板ガラス3mm+Low-E復層ガラス
5℃ 30℃
(サーモグラフィー撮影条件: 室外温度0℃、室内温度20℃)

空気の間が断熱材となり、家の中を快適に



アルミの約 **1/1000** の熱伝導率で高い断熱効果



GROHE
「Everstream」

心地よさはそのままに、
水を再利用できる新しいシャワーシステム

リサイクルシャワー GROHE「Everstream」

LIXILが展開するGROHEブランドでは、水をリサイクルする新しいシャワーシステム「Everstream」を開発しました*。髪や体を洗った後のお湯を回収し、適切に浄化することで、お湯を循環利用することができます。先進国の多くでは、シャワーやお風呂で使う水が家庭で使用される水の大部分を占めており、こうした水の再利用を可能にすることで、高い節水効果が期待できます。水不足という世界が抱える課題の解決に向けて、LIXILの環境戦略では「水の持続可能性を追求」を掲げています。節水性能の高い製品・サービスのほか、漏水防止対策に貢献するソリューション等を通じて、エンドユーザーの水使用量の削減に貢献しています。

※2024年春から製品化予定(欧州から展開)

10分間の
水の使用量

わずか
4分の1

120ℓ → 30ℓ

水をお湯に変える際の
エネルギー消費量

従来型より 65%削減

CO₂ 排出量

最大
70%削減可能

脱炭素・資源循環型社会への貢献

低炭素型アルミ形材 「PremiAL R100」

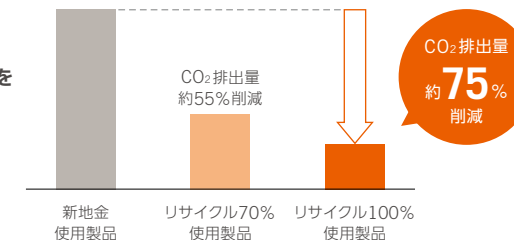
LIXILは、リサイクルアルミ使用比率100%の低炭素型アルミ形材「PremiAL R100」(プレミアムアルミ R100)の受注生産を2023年10月に開始しました。本件は、LIXILが25年以上にわたり築き上げたアルミのリサイクルにおける世界屈指の技術や知見、そしてビジネスパートナーと構築してきた関係性を駆使して実現した、国内初*の取り組みとなります。これにより、LIXILの環境戦略「資源の循環利用を促進」において設定した「2031年3月期までにハウジング事業で使用するアルミ形材でリサイクルアルミ使用比率を100%にする」という目標の達成に大きく寄与します。

※2023年4月時点、自社調べ

PremiAL R100



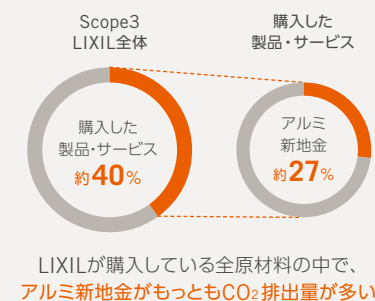
従来のアルミ形材と比較して調達から製造までのCO₂排出量を大幅に削減!



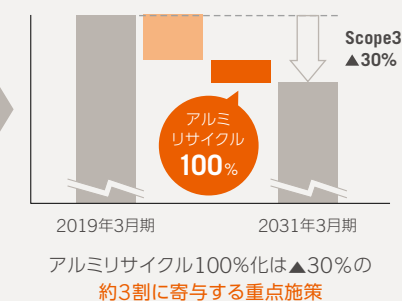
Scope3における 排出量削減にも貢献!

CO₂ 排出量の区分においては、自社が使用した燃料・電気に伴う排出量 (Scope1、2) と、調達や製品の使用など、サプライチェーン上での他社による間接的な排出量 (Scope3) があり、PremiALはScope3におけるCO₂ 排出量削減に寄与します。

LIXIL全体のScope3排出量



Scope3排出量削減の重点施策





特集

2

事業活動を通して 社会に貢献できること

LIXILは、「グローバルな衛生課題の解決」を優先取り組み分野と掲げ、革新的で低価格な衛生ソリューションを提供することにより、2025年までに1億人の人びとの衛生環境を改善することを目指しています。



衛生環境をすべての人びとに

SATO 事業10周年

2023年にSATO事業は10周年を迎えました。更なる発展に向け、パートナーとの連携を強化しています。LIXILとユニセフ*のグローバルパートナーシップ「MAKE A SPLASH!」の活動により、2022年の1年間で560万人が衛生設備を新たに利用することが可能となりました。両者は各国の市場の状況や課題に連携して対応することで、大きな成果をあげています。

*ユニセフ(国際連合児童基金)
ユニセフは特定の企業やブランド、製品やサービスを推奨していません

2022年に基本的な
衛生設備(トイレ)を
利用できるようになった人びと

290万人

基本的な
手洗い設備の
利用者

270万人

📄 グローバルな衛生課題の解決:
<https://s.lixil.com/sanitation>

「MAKE A SPLASH!」2022-2023年 パートナーシップ進捗報告書(要約版):
<https://s.lixil.com/splash>

LIXILは全世界で 次世代技術者の育成支援を展開

衛生業界では、専門的な技術者が慢性的に不足しています。

LIXILでは、技術者の育成を行い、雇用創出のみならず、地域課題の解決に貢献しています。

1

INAX建築技術専門学校「IITA」

人手不足が課題となっているタイル張り技能者育成のためIITAは1989年に設立され、既に1,200名以上の若手タイル張り技能者を輩出しています。その修了生が技能五輪全国大会で金賞を受賞しました。*1



第60回技能五輪全国大会のタイル張り職種で金賞を受賞

2

学生のキャリア教育を支援する NPO「Tools & Tiaras」との協働

米国では将来の配管工を養成する「Trade UPプログラム」を展開しています。建設業界に関心を持つ女子生徒に対し、NPO「Tools & Tiaras*2」と協働で、キャリア教育を実施しました。



Tools & Tiarasのプログラムに参加する女子生徒たち

3

「GROHE Installer Vocational Training and Education (GIVE)」プログラム

LIXILは、欧州(EMENA)地域の学校で配管技術の指導を行うGIVEプログラムを立ち上げました。65機関と提携し、年間5,000人の育成を目指しています。また、女性や社会的に弱い立場にあるコミュニティの若者の就労支援にも力を入れています。



GIVEプログラムの参加者たち

*1 技能五輪全国大会は、国内の青年技能者を対象に、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能尊重機運の醸成に資することを目的として実施する大会。受賞したのは、LIXILのタイル事業における長年のパートナーでもある正和商事株式会社(愛媛県)の社員です。

*2 Tools & Tiaras は、電気技師や大工、配管工といった従来は女性が少なかった技術系職種を志す女子生徒に職業体験の機会やメンターとの出会いを提供する団体です。

📄 コミュニティ: 衛生分野における次世代技術者の育成支援
<https://s.lixil.com/community>

営業報告

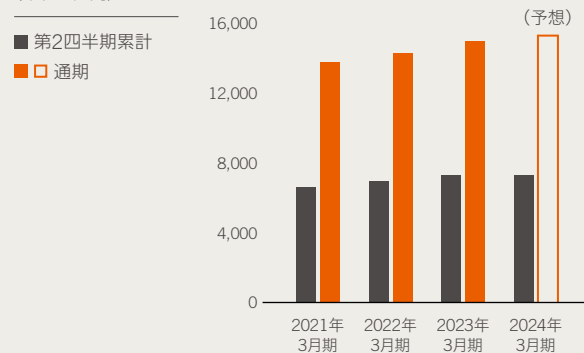
主な経営指数の推移〈連結、国際会計基準〉

| | 当第2四半期 累計期間 自2023年4月 1日 至2023年9月30日 | 前第2四半期 累計期間 自2022年4月 1日 至2022年9月30日 | 前期 自2022年4月 1日 至2023年3月31日 |
|---------------------------|--|--|----------------------------------|
| 売上収益(億円) | 7,322 | 7,327 | 14,960 |
| 事業利益*(億円) | 88 | 62 | 257 |
| 営業利益(億円) | 66 | 100 | 249 |
| 親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益(億円) | 5 | 37 | 160 |
| 資本合計(億円) | 6,591 | 6,392 | 6,277 |
| 資産合計(億円) | 19,149 | 18,888 | 18,535 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー(億円) | △281 | △364 | 150 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー(億円) | △134 | △76 | △293 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー(億円) | 473 | 543 | 198 |
| 現金及び現金同等物の四半期(当期)末残高(億円) | 1,132 | 1,148 | 1,067 |
| 親会社所有者帰属持分比率(%) | 34.3 | 33.7 | 33.7 |
| 親会社所有者帰属持分当期利益率[ROE](%) | — | — | 2.6 |
| 基本的1株当たり四半期(当期)利益[EPS](円) | 1.70 | 12.85 | 55.54 |
| 1株当たり親会社所有者帰属持分[BPS](円) | 2,287.36 | 2,216.96 | 2,178.77 |
| 1株当たり四半期(年間)配当金(円) | 45 | 45 | 90 |

*日本会計基準における「営業利益」と同等、事業利益=売上収益-売上原価-販管費

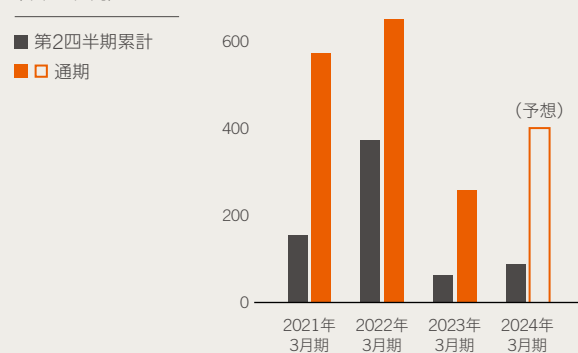
売上収益の推移

(単位: 億円)



事業利益の推移

(単位: 億円)



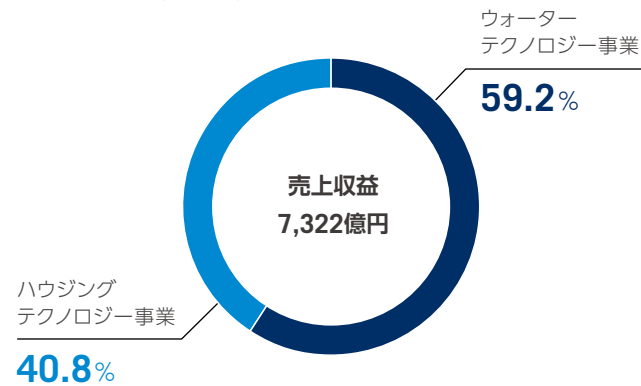
セグメント情報

セグメント別の営業状況

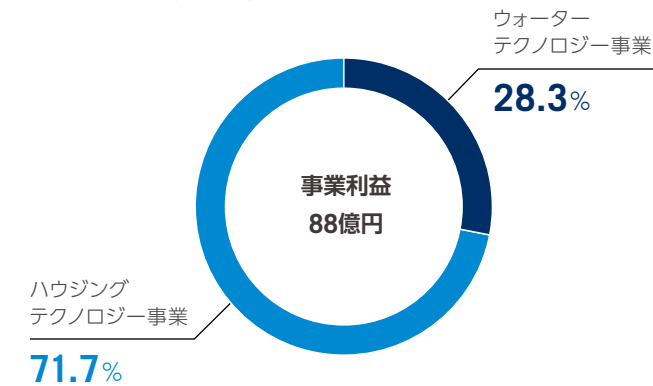
(単位: 億円)

| | 当第2四半期 累計期間 | 前第2四半期 累計期間 | 前年同期比 |
|---------------|----------------|----------------|--------|
| 売上収益 | 7,322 | 7,327 | △0.1% |
| ウォーターテクノロジー事業 | 4,361 | 4,461 | △2.2% |
| ハウジングテクノロジー事業 | 3,009 | 2,932 | 2.6% |
| (調整額) | △47 | △67 | — |
| 事業利益 | 88 | 62 | 43.6% |
| ウォーターテクノロジー事業 | 73 | 207 | △64.5% |
| ハウジングテクノロジー事業 | 186 | 60 | 211.1% |
| (調整額) | △171 | △205 | — |

売上収益内訳(当上期)



事業利益内訳(当上期)



ウォーターテクノロジー事業



写真：「リデア」



上期の決算概要

日本では、価格改定および快適性の向上を目的としたリフォーム売上が伸長しましたが、新築向け売上の減少により、減収となりました。海外では、各地域における需要の軟化影響により、現地通貨ベース、円貨共に売上が減少しました。事業利益について、日本では、新築向けの売上減少による売上総利益の減少を、価格改定と固定費削減でカバーできず、前年同期比で減益となりました。海外では、販管費削減を進めたものの、主に欧米における売上減少を主因として減益となりました。結果として、売上収益は2.2%減の4,361億円、事業利益は64.5%減の73億円となりました。

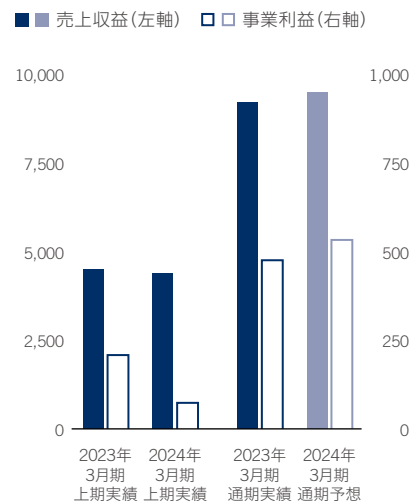
下期の取り組みと2024年3月期業績予想

日本では、新築着工の動向は注視しておりますが、リフォーム需要は引き続き堅調であると見込んでおり、住宅性能・快適性の向

上を目的としたリフォーム商品を拡販してまいります。また、海外では、特に欧州地域における住宅市況の悪化や追加の金利上昇に加え、インフレーションにより住宅関連設備の需要の減退が継続すると予想されます。米国では第2四半期では黒字となり、下期以降は住宅市場が徐々に回復してくると予想しており、商品・販売先構成の戦略的転換に注力します。中国は、不動産市況の低迷、消費意欲低下から需要は低成長を見込んでおります。アジア太平洋地域では一部地域で不動産市況が軟化しておりますが、全体としては引き続き安定的と見込んでおります。利益面では、価格の適正化を推進するとともに、販売および生産量減少による固定費負担が課題となっていることを踏まえ、海外を中心に、構造改革を進めてまいります。引き続き厳しい事業環境が継続することが予想されますが、通期の業績予想は売上収益9,450億円、事業利益530億円と見込んでおります。

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)



ハウジングテクノロジー事業



写真：「インプラス」



上期の決算概要

新築向けの需要減少の影響はありましたが、価格改定の実施ならびに住宅性能・快適性の向上を目的としたリフォーム向けの売上の増加により増収となりました。リフォーム需要の増加は、エネルギー価格の上昇や環境負荷への関心の高まりに加え、既存住宅で省エネ効果の高い高性能窓への改修費用に対する政府の補助金も後押しとなりました。

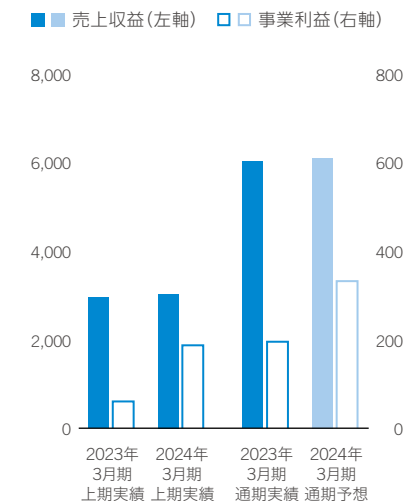
事業利益は、コスト上昇に対応した価格改定により収益性を回復しました。さらに高性能リフォームサッシの販売好調によって、大幅な増益を達成しました。結果として、売上収益は2.6%増の3,009億円、事業利益は211.1%増の186億円となりました。

下期の取り組みと2024年3月期業績予想

省エネ効果の高い高性能窓の改修に関する政府の補助金は下

売上収益・事業利益の推移

(単位：億円)



期の半ばまで効果が続くと思込んでおります。来年以降の需要継続に対して諸施策を検討しております。新築着工の動向は注視しておりますが、住宅性能および快適性の向上を目的としたリフォームに対する需要は底堅く、リフォーム売上は引き続き伸長すると予想しております。当事業の主要原材料であるアルミニウムの市場価格が安定しており、下期以降はコストダウン要因として業績に寄与する見込みです。今後も継続して、固定費削減に努め、収益性の改善を目指します。引き続き厳しい事業環境が継続することが予想されますが、通期の業績予想は売上収益6,065億円、事業利益330億円と見込んでおります。

株主さまアンケート結果

多数のご回答をいただき、誠にありがとうございました。貴重なご意見・ご要望は今後の経営やIR活動に活かしてまいります。いただいたお問い合わせ・ご意見の中から一部をご紹介します。

株主さまからのお問い合わせにお答えします



**CO₂排出量削減について、
どのような取り組みがありますか。**

LIXILは、事業プロセスのみならず、自社バリューチェーンにおけるCO₂排出量の削減に向けた中期目標を設定し、事業を通して、暮らしにかかわる社会課題の解決に取り組んでいます。その一例として、LIXILはリサイクルアルミ使用比率100%

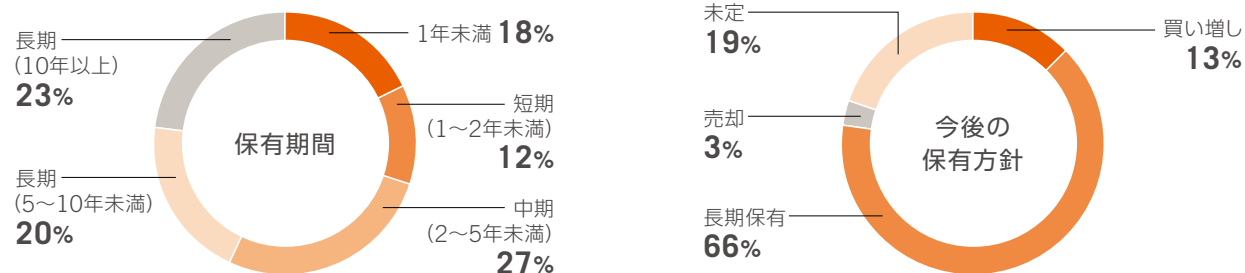
の低炭素型アルミ型材「PremiAL R100」を開発、受注を開始しました。

リサイクルアルミを使用することで、新地金（製錬アルミ）を製錬する際のエネルギー消費を抑え、CO₂排出量を97%削減することが可能となります。今後は国内に限らず、環境意識の高いデベロッパー・投資家が多い欧米等の海外も視野に入れて展開していきます。

[P.08参照](#)

ご回答者の保有期間・保有方針について

ご回答者の約半数が5年以上の長期保有者であり、今後も長期での保有をお考えです。



いただいたご意見・
ご要望の一部をご紹介します

- 気候変動等は、LIXILの実力を発揮できる分野と考えておりますので、今後の取り組みに期待します。
- 株価を上げる業績を期待します。
- 社員の潜在力を引き出し利益につなげて欲しい。これからの日本の会社の見本になって欲しい。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

株式数および株主数

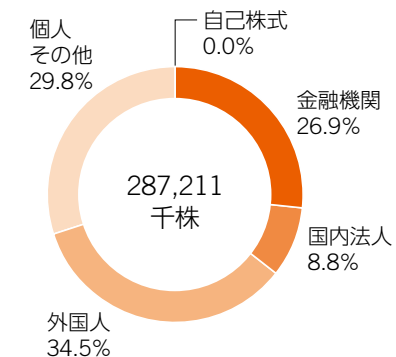
| | |
|---------------------------|-----------------|
| 発行可能株式総数 | 1,300,000,000 株 |
| 発行済株式の総数 (自己株式55,300株を除く) | 287,156,490 株 |
| 株主の総数 | 118,267 名 |

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率 |
|--|---------|--------|
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) | 45,905* | 15.99% |
| SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店) | 12,867 | 4.48% |
| (株)日本カストディ銀行(信託口) | 12,651* | 4.41% |
| JP MORGAN CHASE BANK 385632 (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部) | 12,420 | 4.33% |
| LIXIL従業員持株会 | 7,135 | 2.48% |
| STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 (常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部) | 5,771 | 2.01% |
| NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS(常任代理人 香港上海銀行東京支店) | 5,465 | 1.90% |
| BNYM AS AGT/CLTS 10 PERCENT (常任代理人 (株)三菱UFJ銀行) | 4,914 | 1.71% |
| JPモルガン証券(株) | 3,942 | 1.37% |
| 日本生命保険相互会社 | 3,824 | 1.33% |

(注) 1. 持株比率は、自己株式55千株を控除して計算しています。
2. ※はすべて信託業務に係るものです。

所有者別分布状況



| | |
|-------|-----------|
| 金融機関 | 77,273千株 |
| 国内法人 | 25,243千株 |
| 外国人 | 99,072千株 |
| 個人その他 | 85,567千株 |
| 自己株式 | 55千株 |
| 合計 | 287,211千株 |

免責事項

この株主通信には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

会社概要

会社概要

社名 株式会社LIXIL
 英文社名 LIXIL Corporation
 設立年月日 1949(昭和24)年9月19日
 本店 〒141-0033 東京都品川区西品川一丁目1番1号 大崎ガーデンタワー
 資本金 68,530百万円
 決算期 3月31日
 従業員数 連結 50,591名 (2023年9月30日現在)
 主な事業内容 住宅およびビルの建材・設備機器の製造・販売、その他住宅に付帯する事業およびその関連サービス業

外部評価



【S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数】
 S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの【S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数】の構成銘柄に選定(6年連続、2023年7月)

2023 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数(WIN)



【MSCI日本株女性活躍指数(WIN)】
 MSCI社の【MSCI日本株女性活躍指数(WIN)】の構成銘柄に選定(7年連続、2023年6月)

【FTSE4Good Index Series】
 【FTSE Blossom Japan Index】
 【FTSE Blossom Japan Sector Relative Index】
 FTSE Russell社の【FTSE Blossom Japan Sector Relative Index】(2年連続、2023年6月)
 【FTSE4Good Index Series】【FTSE Blossom Japan Index】の構成銘柄に選定(7年連続、2023年6月)



【Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index】
 Morningstar社の【Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index】に選定(2023年4月)

取締役

取締役 瀬戸 欣哉
 取締役 松本 佐千夫
 取締役 ファ・ジン・ソン・モンテサーノ
 社外取締役 青木 淳
 社外取締役 石塚 茂樹
 社外取締役 金野 志保
 社外取締役 田村 真由美
 社外取締役 西浦 裕二
 社外取締役 瀧口 大輔
 社外取締役 松崎 正年
 社外取締役 綿引 万里子

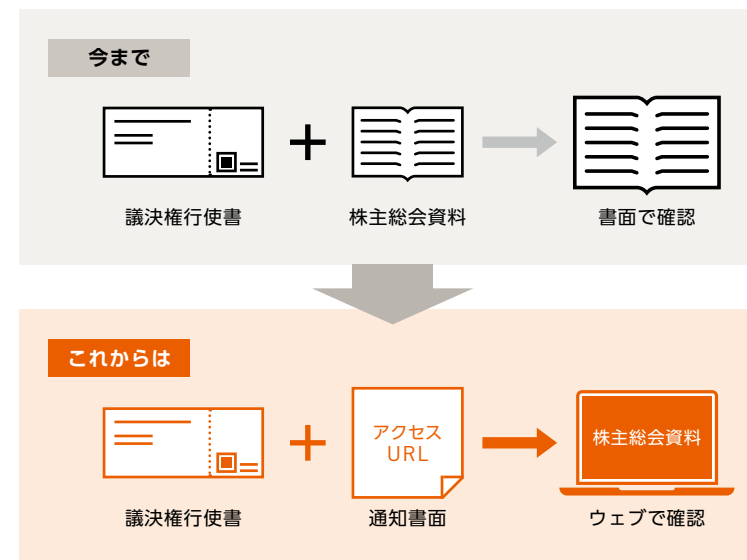
執行役

代表執行役社長 瀬戸 欣哉
 代表執行役副社長 松本 佐千夫
 代表執行役専務 ファ・ジン・ソン・モンテサーノ
 執行役専務 金澤 祐悟
 執行役専務 ビジョイ・モハン
 執行役専務 吉田 聡
 執行役専務 大西 博之
 執行役専務 君嶋 祥子

株式実務電子提供制度

株主総会資料が原則ウェブ化されます

会社法改正にともない、2023年3月以降の株主総会より、株主総会資料を当社ウェブサイト等でご提供しています。株主さまにはウェブサイトへのアクセス方法等を記載した通知書面と議決権行使書をお送りします。



インターネットのご利用が 困難な株主さまへ

株主総会資料を書面で受領されたい場合は、株主総会基準日までに、書面で受領するためのお手続き(書面交付請求)をしていただく必要があります*。2024年6月開催予定の定時株主総会については、下記のお問合せ先にお申し出いただき、**2024年3月31日までに**お手続きを完了ください。

*なお、すでに書面交付請求のお手続きをされた株主さまにつきましては、継続的に書面をお送りいたしますので、お手続きは不要です。書面交付を終了する場合はあらためてご案内いたします。

電子提供制度に関する お問合せ先

口座を開設されている証券会社又は
三菱UFJ信託銀行 証券代行部 テレホンセンター
 電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**
 (受付時間:土・日・祝日等を除く平日 9:00~17:00)
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



❗ 免責事項は当社ウェブサイトをご参照ください。 当社ウェブサイト 社外からの評価・表彰: <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>

報告書 発行のお知らせ

ウェブサイトでは、より詳細な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



統合報告書 2023

 <https://s.lixil.com/integrated2023>



インパクト戦略※

 [本編 https://www.lixil.com/jp/impact/](https://www.lixil.com/jp/impact/)

[データブック https://s.lixil.com/ESGdatabook2023](https://s.lixil.com/ESGdatabook2023)

本編



データブック



※2023年にコーポレート・レスポンスビリティ戦略からインパクト戦略へ移行しました。
また本編は報告書の形ではなく、ウェブサイト形式の開示に移行しました。

お問い合わせ先

株式についてのお問い合わせ

■三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711 ■LIXIL：050-1790-5765

本誌の内容についてのお問い合わせ

■LIXIL：IR室 050-1790-5041

株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。商品により電話番号が異なりますのでご注意ください。
受付時間 平日 9:00～18:00、土日祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

■トイレ、化粧台、浴室商品、タイル商品 ■キッチン商品 ■サッシ、ドア、エクステリア
☎ 0120-179-400 ☎ 0120-190-521 ☎ 0120-126-001

株式会社 LIXIL

本店：東京都品川区西品川一丁目1番1号 大崎ガーデンタワー

ホームページ：<https://www.lixil.com/jp/>